

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

HPサイト http://www.kenpoukaigi.gr.jp

本号 27 第 293 号

2011年6月30日

Tel 03-3261-9007

Fax 03-3261-5453

福島原発の放射性物質 10日 でヨーロッパへ飛散

原発推進は、日本国憲法・「平和的生存権」と対立

6月23日の各紙の報道によれば、福島第1原発事故にめぐり水素爆発などで大気中に放出された放射性物質がジェット気流（偏西風）にのって、北米を横断、10日間ほどでスイスに到達しています。九州大学と東京大学の研究チームの観測によって明らかになったものです。なお、放射性物質の量は、途中、海などへ落下するので当初より大きく低下しているといえます。

憲法前文は「全世界の国民の平和的生存権」を強調しています

憲法前文は「全世界の国民が、ひとしく恐怖と欠乏から免れ、平和のうちに生存する権利」をたかだかと宣言しています。核兵器の恐怖はもちろん、原発事故ではチェルノブイリ事故で大量の放射性物質が拡散され、大問題になりました。

今回の福島原発の人災事故については、全世界国民の平和的生存権を憲法で確認している日本の政府の責任はきわめて重大です。

「安全神話」にもとづき国策として原発を推進し、かつ事故後も反省せず、キッパリ「脱原発」を明確にしないばかりか、サミットやアメリカとの2+2などで菅民主党政権が明らかにしている「安全確保に留意して原発推進、再稼動」という立場は、日本国憲法とは全く相容れない極めて重要な問題です。

比例定数削減反対の世論と運動大きく

7月13日(水) 院内集会&議員要請 11 団体が呼びかけ

詳細は別添「チラシ」をご覧ください。

6・9比例定数削減反対大集会特集

『月刊憲法運動』7月号好評発売中〈憲法会議発行〉

市田忠義日本共産党書記局長の国会報告／渡辺治一橋大学名誉教授の講演／8団体代表によるリレートーク／集会アピール など満載

「震災と憲法—自治体と自治体労働者の役割と課題」(自治労連・柴田英二、角田英明) も収録

特別定価 500円(2~9部まで単価 450円、10部以上 400円)

※お申し込み、お問合せは⇒憲法会議へ

7・13 比例定数削減反対院内集会 & 議員要請行動



衆院比例定数削減の動きは、自民党有力議員が唱える3人区(150選挙区)制度の急浮上もあり、大連立をめざす動きとあわせて、きわめて緊迫した状況にあります。労働者・国民の声を国会から締め出す強権政治の確立を、許してはなりません。

先に開催した「6.9比例定数削減反対集会」で、1,200人の参加者とともに、運動を強めることを確認しました。私たちの総意を、国会議員に示すため、院内集会と議員要請行動を計画しました。多くの方にご参加いただきますよう、心からよびかけます。

**削られるのは、私たちの声…
削減反対署名を持って、集まろう!**

7/13 (水) 14:00 開場
16:30 終了

衆議院第2議員会館・第1会議室

- 講演「震災復興と比例定数削減—民主党政権と国民」(自由法曹団・弁護士・田中隆さん)
- 国会情勢報告 ■ 各団体からの発言
- 国会議員要請行動



東京メトロ「国会議事堂前駅」「永田町駅」下車、徒歩5分。会館ロビーで入場証を受け取って下さい。

<協賛> 憲法会議 自由法曹団 新日本婦人の会 全国学生団体連合会 全国労働組合連合会 全国国民保護運動連合会
全日本学生自治会連合会 東京地方労働組合協議会 日本経済新聞社 農林労働組合連合会 対人権クラブ (財) 不
<連絡先> 全労連/東京支店 丸の内線2-1-1 全労連会館4階 TEL: 03-5842-5611 FAX: 03-5842-5620